

中津川のじまんを堪能

10/27～29 ふるさとじまん祭・菓子まつり

今年も東美濃ふれあいセンターに中津川の特産品がたくさん集まり、3日間で約3万1千人の方が来場し盛り上がりました。館内では中津川の銘菓が特別割引で販売され、屋外ではグルメ屋台村や五平もち横丁などが並び、ステージイベントも行われ来場者を楽しませました。中津川菓子組合手作りの栗粉もなかが個数限定でふるまわれ、多くの方が中津川のじまんを堪能しました。

問 観光課 (☎内線4273)



会場は大にぎわいでした

東美濃ふれあいセンター

迫力の演技で地歌舞伎の魅力を発信!

10/29 第49回加子母歌舞伎公演

第49回加子母歌舞伎公演が満席のかしも明治座で上演されました。5年前ヨーロッパ公演で上演した「俊寛」をはじめ、小学生を中心とした「浮世柄比翼稲妻」、中学生や小学校の先生を中心とした「本朝二十四孝」を初めて参加する役者からベテランの役者まで一丸となって演じました。見せ場では、観客から大向こうと呼ばれるかけ声やおひねりなどが飛び交いました。

問 加子母総合事務所 (☎79-2111)



観客も一体となって盛り上がりました

かしも明治座

駅前空間のにぎわいづくり

11/5 中津川駅前飲食販売を行う社会実験

中津川駅前広場の利活用を検討する取り組みの一環で、7月に引き続き2回目を実施しました。当日は六斎市やさわやかウォーキングも開催され、観光客など駅前にも多くの方が訪れ、キッチンカーを利用した方が広場に設置したテーブルで飲食を楽しむなどにぎやかな空間が広がりました。

問 都市住宅課 (☎内線206)



キッチンカーでの飲食を楽しみました

中津川駅前

楽しく健康を考える

10/21 健康福祉フェア

健康につながる「食」と「運動」の体験イベントをひと・まちテラスで開催しました。イベントのひとつ、「健康推進員と歩こう!」に参加された皆さんは、「中津川市の歴史を学びながらウォーキングができて楽しかった!」と笑顔で終わられました。健康にまつわる体験を通して、自分の身体について考えたり、身近な人と話をする良い機会になったのではないのでしょうか。

問 健康医療課 (☎内線622)



楽しくウォーキングをしました

都市緑地公園

全国の素敵な作品が勢ぞろい

10/21～22 つけち全国レディース・クラフトフェア

女性クラフト作家による作品発表・販売を行うイベントであるレディース・クラフトフェアが道の駅花街街道付知イベント広場で開催されました。全国から128組もの作家の皆さんが参加し、陶器や革、布製品などの展示・販売が行われました。また、青空図書館やワークショップ、キッチンカーも出店し、子どもから大人まで多くの方がフェアを満喫していました。

問 付知総合事務所 (☎82-2111)



たくさんの方が訪れました

花街街道付知

芝居小屋から文化発信!

10/21～22 2023常盤座演劇フェスティバル

平成21年度からスタートした前身の、演劇CAMP in中津川から数え14回目を迎える常盤座演劇フェスティバルが開催されました。今年度は市内外からプロ・アマ含む13団体と特別出演のたかはしべんさんを迎え、演劇や楽器演奏・伝統芸能で会場を魅了しました。新型コロナウイルス拡大時から休止していた飲食屋台や会場内飲食も復活し、常盤座を大いに盛り上げました。

問 文化振興課 (☎内線4319)



さまざまな芸能を堪能しました

常盤座

認めあい、支えあい、まあるいところ

～人々がかがやくまち中津川～⑥

★地域で活躍する女性 ハンドメイド作家 松井 倫子さん

廃棄寸前のデニムを生かしたトートバッグや小物を制作し、サステナブルブランド「FREELY」として展開する松井さん。自身の店舗前で毎月、県内外のハンドメイド作家などが集まるマルシェ「FREELY MARCHE～なかつが輪～」を主催し、「作品を通して、人と人とのつながりや地域の輪を広げていきたい。」と話しています。コロナ禍でイベントが少なくなる中、さまざまな作家やお客さんが集まる拠点をつくろうと、昨年6月に下野地区で店舗をオープン。マルシェにはクラフトやキッチンカーなど約25店舗が参加しています。

「活動を通して色々な人と出会うことができた。作家同士の橋渡しや、お客さんに中津川を知ってもらおうきっかけになればうれしい。」と笑顔で語ってくれました。



問 市民協働課 (☎内線326)



祝100歳 いっまでもお元気で!

問 高齢支援課 (☎内線604)



いとう まさえ 伊藤 政江さん (駒場)



ながせ こ 長瀬 アイ子さん (中津川)